

資料 4

報道発表資料
平成25年10月22日
気 象 庁

第127回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、第126回火山噴火予知連絡会（平成25年6月18日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成25年6月18日～平成25年10月22日）、霧島山（新燃岳）では噴火は発生しませんでした。火口内には依然として溶岩が蓄積しています。桜島、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。7月以降は、噴煙高度が火口縁上3,000mを超える噴火が増加し、8月18日の爆発的噴火では火口縁上5,000mまで噴煙が上がりました。今期間は爆発的噴火に伴い大きな噴石が最大3合目まで達し、また、小規模な火砕流が1回、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が3回発生しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- 全磁力連続観測によると、96-1火口地下の温度が上昇している可能性があります。
- その他の観測データに特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

③ 大雪山 [噴火予報(平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- 火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量及び地震回数の増加、発光現象などが観測されています。また、吹上温泉地区では、1988-89年噴火の数年前から見られた温泉の Cl/SO_4 比の上昇と同様の変化が、2012年からわずかながら認められています。今後の火山活動の推移に注意が必要です。

⑤ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- 6月下旬から7月上旬にかけて山体西側の膨張を示す地殻変動があり、その直後から山体西側で地震活動が活発化しましたが、9月以降は低調に経過しています。
- 山頂溶岩ドーム直下の地震活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。
- 山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要です。

⑥ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨ 恵山 [噴火予報(平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 八甲田山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過しています。
- ・2013年2月以降、大岳山頂付近が震源と考えられる火山性地震が発生し始め、4月以降はやや多い状況で経過していますが、7月下旬以降、地震回数は若干減少し、発生した地震の規模も小さくなっています。
- ・東方山麓部で6月に深部低周波地震が初めて観測されました。
- ・地殻変動観測では、2013年2月頃以降、小さな膨張性の地殻変動が継続しています。
- ・噴気活動と高温域は、1994年と比較して特段の変化は認められません。
- ・引き続き、今後の火山活動の推移に注意して下さい。

③ 秋田焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑤ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・女岳では、2009年からの地熱域の拡大が、今期間もわずかながら認められます。
- ・7月21日に山頂付近で、9月23日に男女岳の北側で一時的に地震活動が活発になりましたが、その他の日の地震は少ない状況でした。
- ・地殻変動及び噴気活動に特段の変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑥ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・2013年1月以降、地震活動がやや活発な状況で、火山性微動も今期間中は、6月、7月および10月に計5回発生しました。
- ・地殻変動及び噴気活動に特段の変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑨ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・大穴火口の噴気活動は、やや活発な状態が続いています。
- ・8月前半を中心に火山性地震がやや多い状況になり、8月11日から13日にかけては火山性微動も発生しましたが、8月後半以降の地震活動は低調となっています。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒してください。また、風下側では、火山ガスに注意してください。

⑩ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・地震活動は静穏で、地殻変動データにも特段の変化は認められません。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・火山活動は静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。

⑤ 新湯焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりました。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意して下さい。また、この付近では火山ガスに注意してください。

⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑩ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・ 深部低周波地震は、7月9日、14日、22日に一時的に増加しましたが、その他の期間は、少ない状態で経過しました。
- ・ その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑫ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続していますが、2011年頃から鈍化してきています。
- ・ 最近の変化をみると、GPS観測では、2013年4月頃から縮みの傾向がみられていましたが、8月頃から伸びの傾向がみられています。傾斜観測でも、2013年4月頃から山下がりの傾向がみられていましたが、8月頃から山上がりの傾向がみられています。体積ひずみ計の観測では、2013年4月頃からは停滞していましたが、8月頃から再び伸びの傾向がみられています。
- ・ その他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑮ 新島 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑯ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 今期間、噴火は発生しませんでした。噴火は2013年1月22日を最後に発生していません。
- ・ 三宅島島内の山頂浅部を震源とする地震は、少ない状態です。
- ・ GPSによる観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞している。一方、島の南北を挟む長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、期間中は1日あたり400トン~1,000トンと、やや少量からやや多量の火山ガス放出が続きました。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺(雄山環状線内側)では引き続き噴火に警戒してください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。

⑮ 八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑯ 青ヶ島 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑰ 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・ 島西部の旧火口（通称：ミリオンダラーホール）では、2012年2月以降ごく小規模な水蒸気爆発が度々発生していますが、今期間は噴火は確認されていません。
- ・ 地震活動は概ね少ない状態で経過しました。
- ・ GPSによる地殻変動観測では、2013年1月頃からわずかに隆起の傾向がみられ、4月頃からほぼ停滞していましたが、5月頃から再び隆起の傾向がみられます。なお、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・ 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

21 福岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・ 変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）] ←9月25日に噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げ、10月11日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ。

- ・ 中岳第一火口の湯だまり量は、一時的に7割まで増加しましたが、3～4割で経過しました。湯だまりの表面温度は、58～76℃と高い状態で経過しました。噴湯現象は期間を通して観測されました。7月16日及び19日の現地観測では土砂噴出を確認しました。
- ・ 9月7日から16日にかけて火山性微動が連続して発生しました。
- ・ 9月23日から火山性地震が急激に増加し、24日以降非常に多い状態となりました。また、25日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,900トンと多い状態でした。これらのことから、中岳第一火口の火山活動は高まっており、火口から概ね1kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生する可能性があるかと判断し、9月25日15時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。
- ・ 9月23日21時頃から増加した火山性地震は、9月24日から28日にかけて日回数が1,000回を超え、非常に多い状態となりました。9月29日以降は減少傾向となり、10月7日以降は少ない状態で経過しました。
- ・ 地殻変動観測では、今回の地震活動の活発化に先立ち、9月23日15時頃から火口直下浅部での膨張が認められ、その後収縮に転じました。

- ・ 二酸化硫黄の放出量は、1日あたり500トン程度で経過していましたが、9月25日及び26日には、それぞれ1,900トン及び2,000トンと一時的に多い状態となり、その後10月10日には400トンに減少しました。
- ・ 以上の観測結果より、中岳第一火口で火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、10月11日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。
- ・ 中岳第一火口では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。
- ・ 南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

④ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←10月22日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げ。

- ・ 2011年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。
- ・ 火山性地震は少ない状態で経過しています。火山性微動は2012年3月以降観測されていません。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、今年に入ってから検出限界以下の量になっています。
- ・ 10月1日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、火口内に蓄積された溶岩の形状や火口内の噴気、温度分布等に変化はありませんでした。
- ・ 火口内の溶岩の状態に大きな変化はありませんが、衛星からの観測によると火口内の溶岩はわずかに隆起を続けています。しかし、隆起量は次第に小さくなっています。
- ・ GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、2011年12月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められません。
- ・ 霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。
- ・ 以上のように、新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口内にたまった溶岩は依然高温状態にあり、小規模な噴火が発生する可能性は残っていることから、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では警戒してください。
- ・ 降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・ 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・ 爆発的噴火の発生回数は、6月は減少しましたが、7月以降は多い状態で経過し、噴煙高度が火口縁上3,000mを超える噴火が増加しました。期間中の爆発的噴火の回数は381回で、うち5回で大きな噴石が3合目まで達しました。また、小規模な火砕流が1回、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が3回発生しました。
- ・ 8月18日の爆発的噴火では、多量の噴煙が火口縁上5,000mまで上がり、小規模な火

砕流が昭和火口の南東側へ約1km流下しました。また、9月25日の爆発的噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,000mまで上がり、翌9月26日の噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,500mまで上がりました。これらの噴火に伴い、風下側では小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降りました。

- ・ 南岳山頂火口では、8月16日にごく小規模な噴火が発生しました。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、1日あたり900～2,900トンと概ね多い状態が継続しています。
- ・ 鹿児島県の降灰観測データをもとに解析した桜島の火山灰の月別の噴出量は、6月は約10万トンと減少しましたが、7月～9月は約70万トン～80万トンと増加しました。
- ・ 島内の傾斜計、伸縮計およびGPSによる地殻変動観測では、2013年2月頃から始まった隆起・膨張が、7月から停滞もしくは沈降しています。火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2～3月頃にやや増加し、4月及び6月には一時的に減少しましたが、7月に入り再び増加したと推測され、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・ GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、5月頃から停滞気味となっています。
- ・ 昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦ 薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）] ←7月10日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ。

- ・ 硫黄岳では、前期間の6月3日から5日にかけて、ごく小規模な噴火が時々発生し、これに伴い6月4日09時50分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げていました。
- ・ 7月9日に実施した現地調査では、噴火発生前の静穏期（5月28日から30日）と比較して、噴煙の状況に特段の変化はありませんでした。赤外熱映像装置による観測でも、硫黄岳北側斜面及び西斜面の噴気地帯の一部に高温域が認められる程度で、温度分布に特段の変化は認められませんでした。また、二酸化硫黄の放出量は1日あたり500トンで、前回（5月29日：300トン）と比較して特段の変化は認められませんでした。
- ・ 以上の観測結果より、硫黄岳では噴火の兆候は認められなくなったと判断し、7月10日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。
- ・ 硫黄岳火口では、噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑧ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・ 御岳火口では、8月26日に2012年3月6日以来の爆発的噴火が発生し、期間中の爆発的噴火は22回に達しました。噴煙の最高高度は火口縁上1,500mでした。噴火活動は長期的には活発な状態で経過しています。
- ・ 諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震は、6月以降増加しており、8月は107回、9月は331回とやや増加しました。火山性微動は、2012年9月から2013年7月中旬までほぼ連続して発生していましたが、それ以降は断続的に発生しました。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

注) 噴火警戒レベルは平成25年10月22日現在、30火山で運用しています。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 9 月29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2013年 7 月25 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
			2008年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年 3 月31日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2011年 5 月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 6 月20日 噴火予報（レベル 1、平常） 2013年 9 月25日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル 1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月22日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 3 月30日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 5 月 6 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 1 月26日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2011年 1 月31日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 3 月22日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2012年 6 月26日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル 3、入山規制）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008年 2 月20日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008年 7 月14日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年 7 月28日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008年 8 月28日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月19日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 3 月10日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 7 月19日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2010年 9 月30日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2012年 3 月12日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島			2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

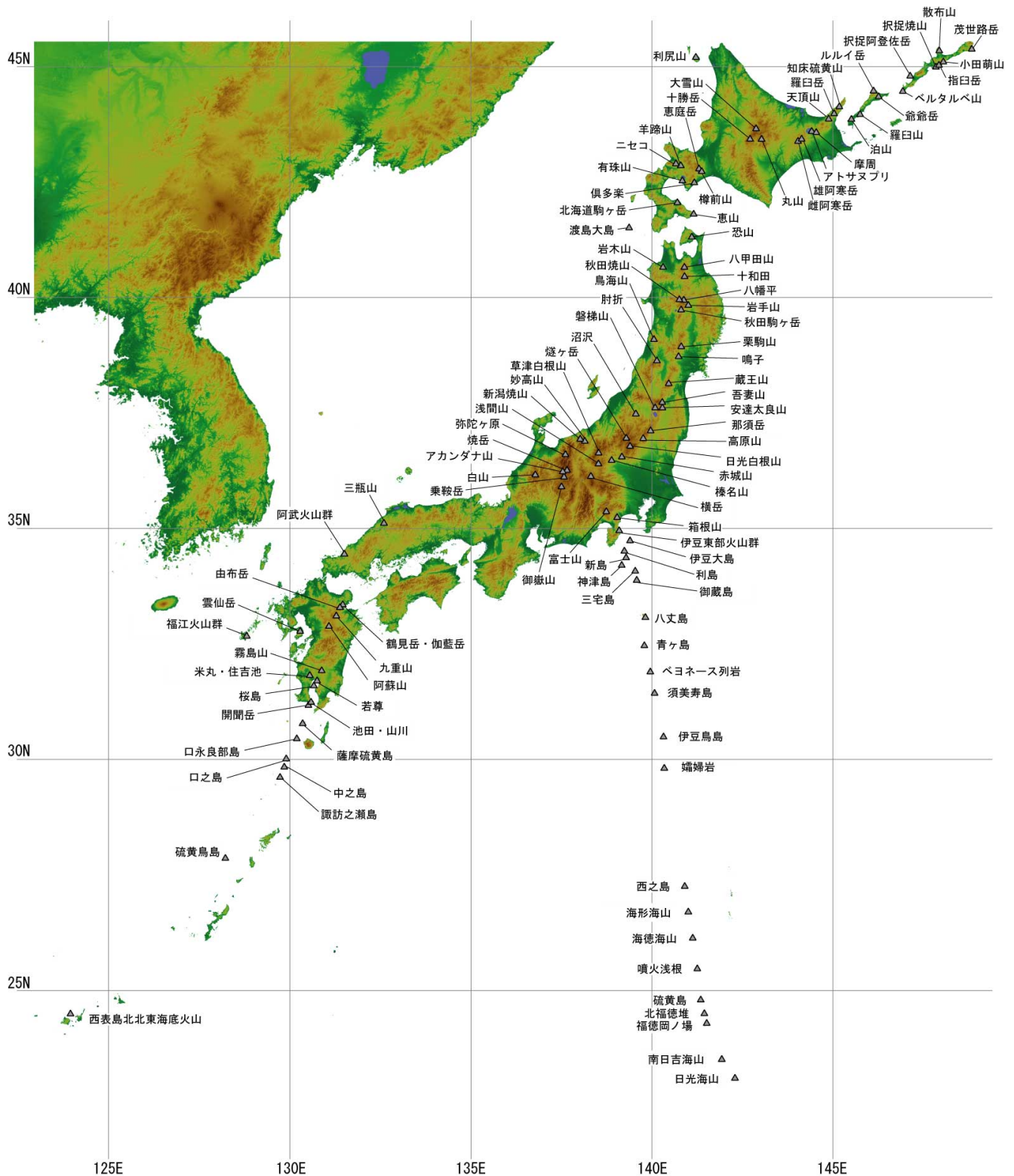


図 全国の活火山分布